

4 DVの実態

【「女性に対する暴力」調査（東京都生活文化局）】

4(1)(2)及び(3)に示した調査内容は、平成10年3月に公表した、「女性に対する暴力」調査において、暴力被害体験を持つ女性（都内在住、満20歳以上）に呼びかけを行い、面接員による1対1の聞き取り調査をとりまとめたものである。有効回答数は52件となっている。

(1) 一番最初の暴力の実態 時期

「交際しはじめ～結婚（交際期間）」が17件（32.7%）と最も多い。約8割が交際しはじめから結婚5年未満の間に暴力が始まったとしている。

図表 - 4 - 1 暴力が始まった時期（都）

	回答数	割合(%)
交際しはじめ～結婚(交際時期)	17	32.7%
結婚当初～結婚後半年未満	9	17.3%
結婚後半年～2年未満	4	7.7%
結婚後2年～5年未満	11	21.2%
結婚後5年～10年未満	3	5.8%
結婚後10年以上	4	7.7%
不明	4	7.7%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年

場所

「自宅」が37件（71.2%）と最も多い。

図表 - 4 - 2 暴力を受けた場所（都）

	回答数	割合(%)
自宅	37	71.2%
本人の家(部屋)～同居前	1	1.9%
彼の家(部屋)～同居前	3	5.8%
親戚・知人・友人などの家	1	1.9%
路上	2	3.8%
車中	2	3.8%
その他	2	3.8%
不明	4	7.7%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年

暴力を受けている時間

「一瞬」が19件(36.5%)と最も多く、「数分(5～6分)」が10件(19.2%)と続く。

図表 - 4 - 3 暴力を受けている時間(都)

	回答数	割合(%)
一瞬	19	36.5%
数分(5～6分)	10	19.2%
数十分(1時間未満)	9	17.3%
数時間(1～24時間未満)	6	11.5%
不明	8	15.4%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

暴力の種類

「身体的」暴力が36件(69.2%)と最も多いが、「精神的」暴力も24件(46.2%)と半数近くになっており、暴力が重複している。

図表 - 4 - 4 暴力の種類(都)

	回答数	割合(%)
身体的	36	69.2%
精神的	24	46.2%
性的	2	3.8%
経済的	0	0.0%
対物	6	11.5%
その他	0	0.0%
不明	4	7.7%

注：複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

身体的暴力の内容

「殴る」が23件(60.5%)と圧倒的に多いほか、「蹴る」10件(26.3%)、「物を投げつける」6件(15.8%)と続く。

図表 - 4 - 5 身体的暴力の内容(都)

	回答数	割合(%)
殴る	23	60.5%
蹴る	10	26.3%
物を投げつける	6	15.8%
投げ飛ばす	4	10.5%
包丁を突きつける	2	5.3%
髪をひっぱる	2	5.3%
階段から落とす	1	2.6%
ものを用いての暴力	1	2.6%
むなぐらをつかむ	1	2.6%
首を絞める	0	0.0%
物をたたきつける	0	0.0%
その他	3	7.9%
不明	2	5.3%

注：身体的暴力を受けていると答えた者による、複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

精神的暴力の内容

「暴言」が21件(77.8%)と多く、「脅す」6件(22.2%)となっている。

図表 - 4 - 6 精神的暴力の内容(都)

	回答数	割合(%)
暴言	21	77.8%
脅す	6	22.2%
覚えのない疑い	2	7.4%
家から閉め出し	2	7.4%
拘束、監視	1	3.7%
無視	0	0.0%
他人の前で侮辱	0	0.0%
私の嫌がることにする(大切なものを捨てるなど)	0	0.0%
勝手に離婚申し立て	0	0.0%
浮気・不貞	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	3	11.1%

注：精神的暴力を受けていると答えた者による、複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

(2) 一番ひどかった暴力の実態

時期

「結婚後10年以上」が22件(42.3%)と最も多い。

図表 - 4 - 7 暴力の時期(都)

	回答数	割合(%)
交際しはじめ～結婚(交際時期)	6	11.5%
結婚当初～結婚後半年未満	2	3.8%
結婚後半年～2年未満	3	5.8%
結婚後2年～5年未満	9	17.3%
結婚後5年～10年未満	8	15.4%
結婚後10年以上	22	42.3%
不明	2	3.8%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

場所

「自宅」が41件(78.8%)と最も多い。

図表 - 4 - 8 暴力を受けた場所(都)

	回答数	割合(%)
自宅	41	78.8%
本人の家(部屋)～同居前	2	3.8%
彼の家(部屋)～同居前	1	1.9%
親戚・知人・友人などの家	2	3.8%
路上	1	1.9%
車中	0	0.0%
その他	4	7.7%
不明	1	1.9%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

暴力を受けている時間

「数分（5～6分）」12件（23.1%）から「数十分（1時間未満）」13件（25.0%）と、一番最初の暴力に比べて長くなっている。

図表 - 4 - 9 暴力を受けている時間（都）

	回答数	割合（%）
一瞬	7	13.5%
数分（5～6分）	12	23.1%
数十分（1時間未満）	13	25.0%
数時間（1～24時間未満）	9	17.3%
不明	11	21.2%
合計	52	100.0%

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年

暴力の種類

「身体的」暴力が48件（92.3%）と最も多いが、「精神的」暴力も24件（46.2%）と半数近くになっており、暴力が重複している。

図表 - 4 - 10 暴力の種類（都）

	回答数	割合（%）
身体的	48	92.3%
精神的	24	46.2%
性的	3	5.8%
経済的	2	3.8%
対物	5	9.6%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

注：複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年

身体的暴力の内容

「殴る」が34件(70.8%)と圧倒的に多いほか、「蹴る」23件(47.9%)、「投げ飛ばす」7件(14.6%)、「首をしめる」6件(12.5%)といった暴力行為を受けている。

図表 - 4 - 1 1 身体的暴力の内容(都)

	回答数	割合(%)
殴る	34	70.8%
蹴る	23	47.9%
投げ飛ばす	7	14.6%
首を絞める	6	12.5%
物を投げつける	4	8.3%
物をたたきつける	4	8.3%
髪をひっぱる	4	8.3%
ものを用いての暴力	3	6.3%
包丁を突きつける	1	2.1%
階段から落とす	0	0.0%
むなぐらをつかむ	0	0.0%
その他	7	14.6%
不明	0	0.0%

注：身体的暴力を受けていると答えた者による、複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

精神的暴力の内容

「暴言」が22件(84.6%)のほか、「脅す」7件(26.9%)、「覚えのない疑い」5件(19.2%)などとなっている。

図表 - 4 - 1 2 精神的暴力の内容(都)

	回答数	割合(%)
暴言	22	84.6%
脅す	7	26.9%
覚えのない疑い	5	19.2%
家から閉め出し	3	11.5%
私の嫌がることにする(大切なものを捨てるなど)	2	7.7%
他人の前で侮辱	1	3.8%
拘束、監視	1	3.8%
勝手に離婚申し立て	1	3.8%
無視	0	0.0%
浮気・不貞	0	0.0%
その他	5	19.2%
不明	0	0.0%

注：精神的暴力を受けていると答えた者による、複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

(3) DVを受けた本人の影響

9割以上(47件)の人が何らかの影響があったと答えており、具体的には「身体的外傷」(37件、78.8%)をはじめとして、「精神的影響(ノイローゼ、寝込むなど)」(16件、34.0%)や「萎縮、脅え」(14件、29.8%)などとなっている。

図表 - 4 - 13 暴力による影響の内容(都)

	回答数	割合(%)
身体的外傷	37	78.7%
精神的影響(ノイローゼ・寝込むなど)	16	34.0%
萎縮、脅え	14	29.8%
無感動、無気力	5	10.6%
自己評価の低下	4	8.5%
本人が子供などへの暴力(児童虐待)	2	4.3%
その他	1	2.1%
不明	1	2.1%

注：暴力により何らかの影響があったと答えた者(N=47)による、複数回答

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

身体的外傷の内容では、「顔が腫れる・顔にあざ」が18件(38.3%)、「頭部にけが・頭部にこぶ」と「骨折」が各7件(各14.9%)などとなっている

図表 - 4 - 14 身体的外傷の内容(都)

	回答数	割合(%)
顔が腫れる・顔にあざ	18	38.3%
頭部にけが・頭部にこぶ	7	14.9%
骨折	7	14.9%
唇が切れる・口元が腫れる	5	10.6%
歯が折れる・歯が抜ける	4	8.5%
眼が腫れる・眼から出血	4	8.5%
全身打撲	4	8.5%
脳しんとう	2	4.3%
鼻がゆがむ・鼻血	2	4.3%
足が麻痺	2	4.3%
その他	3	6.4%

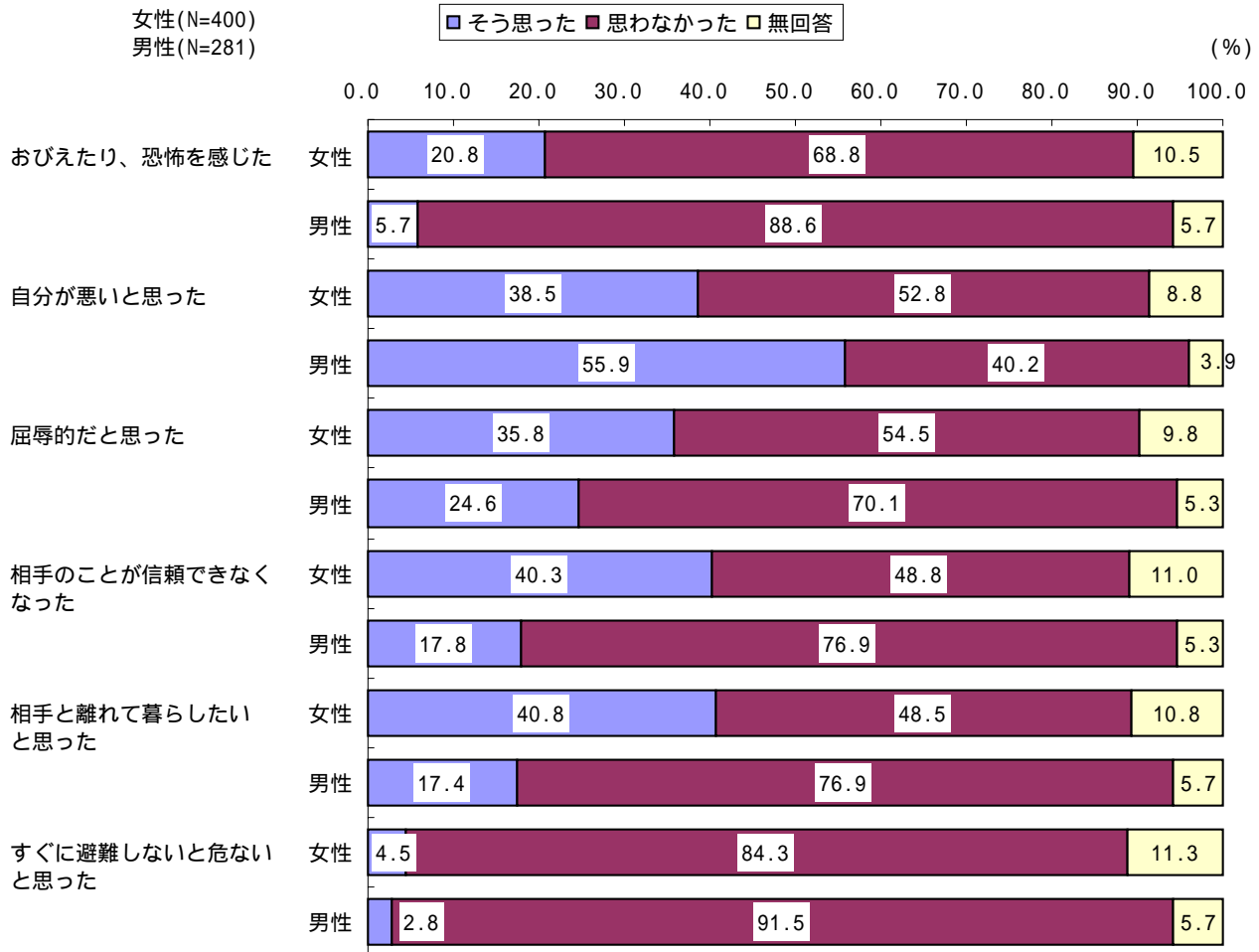
注：暴力により身体的外傷があったと答えた者による、複数回答
ただし、割合は暴力により何らかの影響があったと答えた者(N=47)を分母としている

資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998(平成10)年

(4) DV被害を受けた時の心理状態

女性では「相手と離れて暮らしたいと思った」(40.8%)、「相手のことが信頼できなくなった」(40.3%)が4割を超えている。男性では「自分が悪いと思った」(55.9%)が半数を超えている。

図表 - 4 - 15 暴力を受けたときどう思ったか(都)



注1：暴力 「ア 何を言っても無視する イ 交友関係や電話を細かく監視する ウ 「自分が家にいる時は外出しないように」という エ 大切にしているものをわざと壊したり捨てたりする オ 「だれのおかげでおまえは食べられるんだ」「かいしょうなし」と言う カ 大声でどなったり、ののしる キ げんこつや身体を傷つける可能性のあるものでなぐるふりをする ク 身体を傷つける可能性のあるものを投げつける ケ 押ししたり、つかんだり、つねったり、こぶいたりする コ 平手で打つ サ けったり、かんだり、げんこつでなぐる シ 身体を傷つける可能性のあるものでたたく ス 立ち上がれなくなるまで、なぐる、けるなどのひどい暴力をふるう セ 首を絞めようとする ソ 包丁などの刃物を突きつけておどす タ 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる チ 避妊に協力しない ツ おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する」

注2：注1の暴力について1つでも「何度もあった」「1、2度あった」と答えた者による回答。回答はそれぞれについて1つ

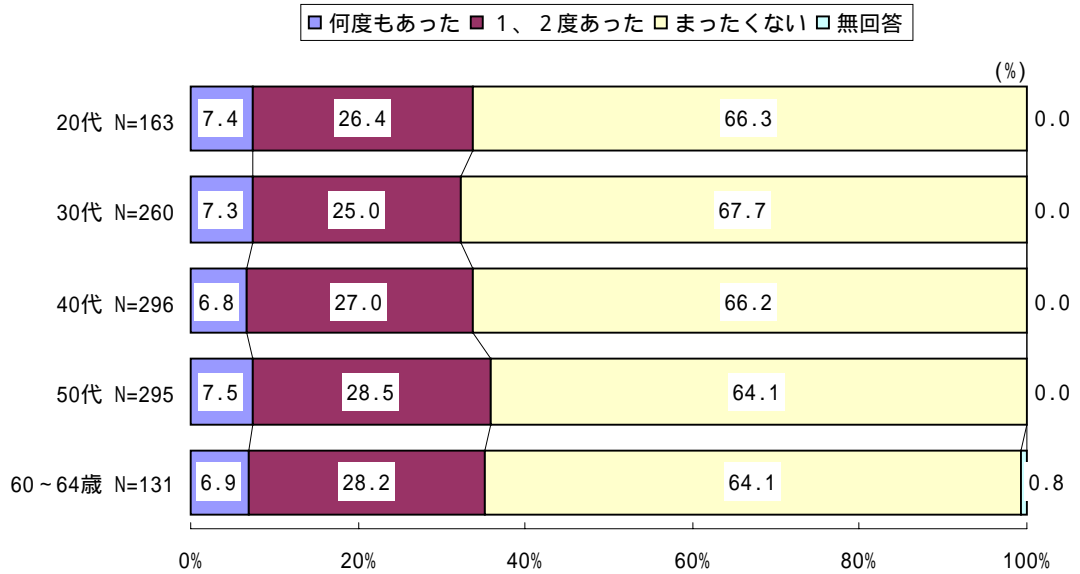
資料：東京都生活文化局「家庭等における暴力」調査 2002(平成14)年

(5) 被害者・加害者の状況

身体的暴力を受けた被害者（本人）の状況

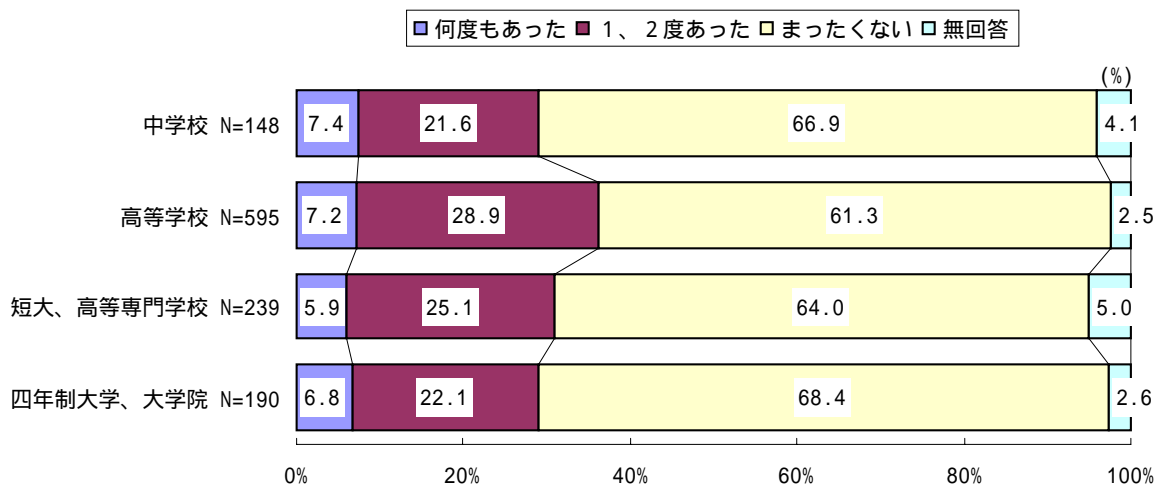
これまでに暴力被害の経験が“あった”者に、年齢・学歴・年収別に顕著な傾向はみられない。

図表 - 4 - 16 被害者年齢別（都）

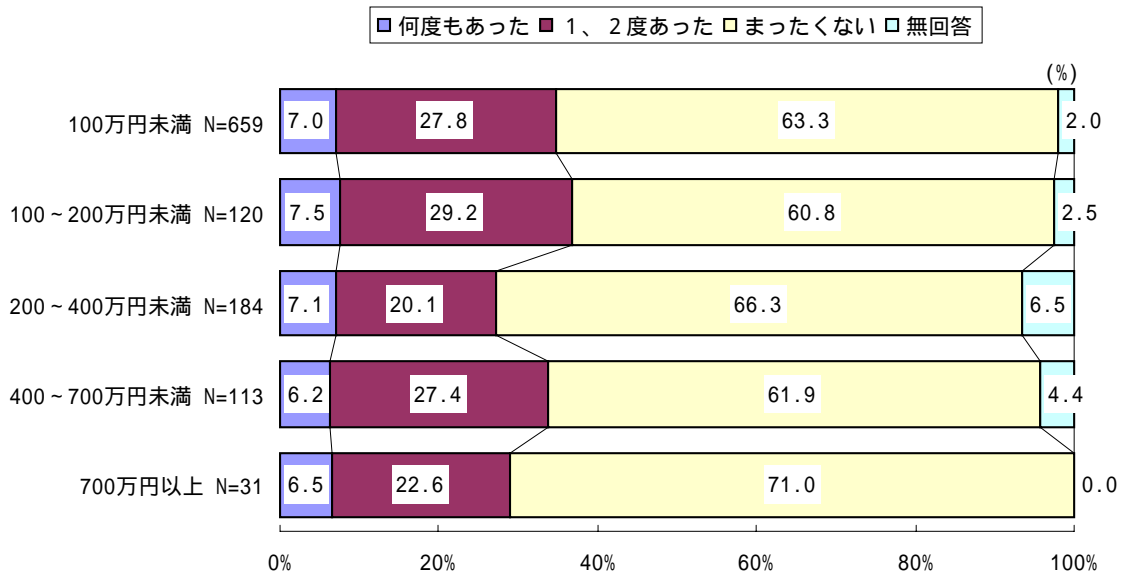


注：“あった”は「何度もあった」と「1、2度あった」の計

図表 - 4 - 17 被害者学歴別（都）



図表 - 4 - 18 被害者年収別（都）

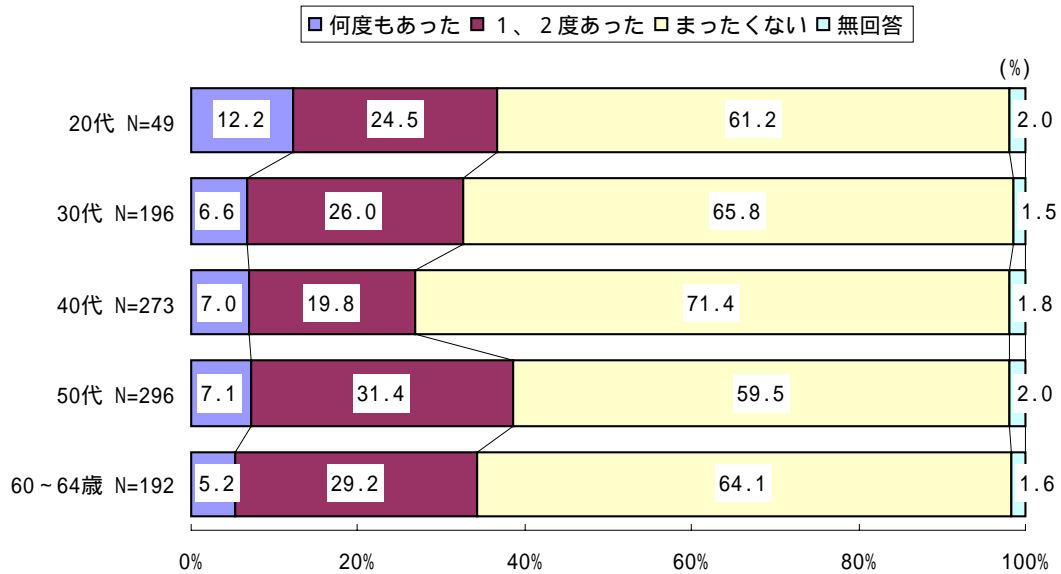


資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年

身体的暴力行為を行った加害者（配偶者）の状況

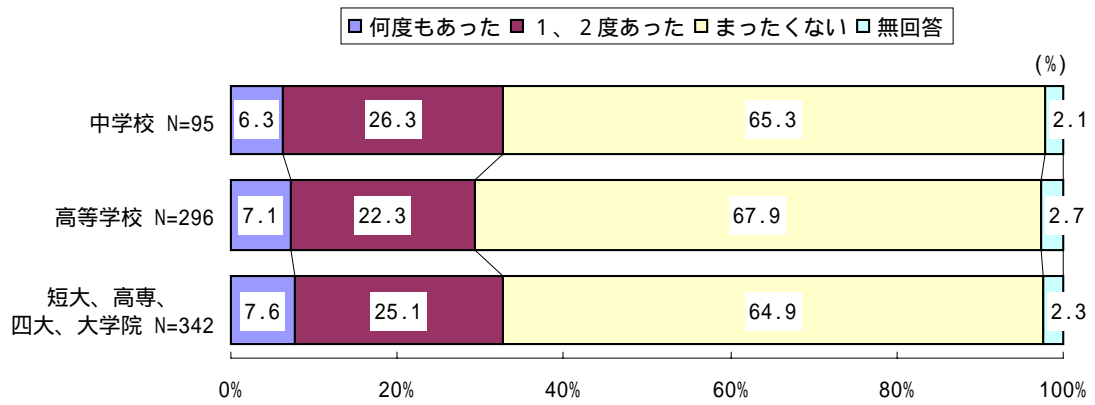
暴力被害の経験が“あった”者の配偶者（加害者）についても、年齢・学歴・年収に顕著な傾向があるとはいえない。

図表 - 4 - 19 加害者年齢別（都）

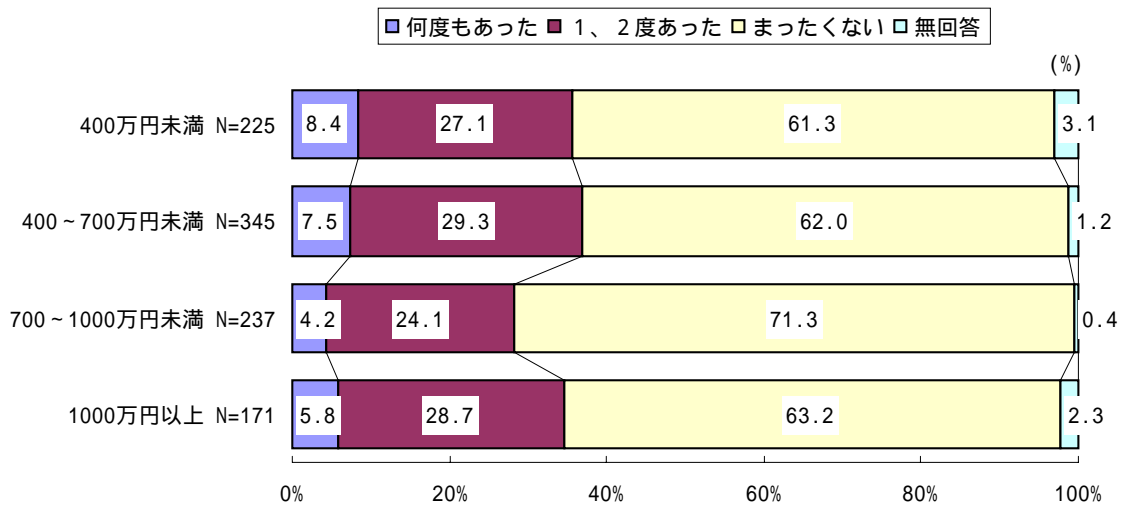


注：“あった”は「何どもあった」と「1、2度あった」の計

図表 - 4 - 2 0 加害者学歴別（都）



図表 - 4 - 2 1 加害者年収別（都）



資料：東京都生活文化局「女性に対する暴力」調査 1998（平成10）年